令和８年度　第１回青少年育成員会　会議録

１　日　時　　令和８年５月 17 日（日）午前 10 時～午後０時

２　会　場　　豊田産業文化センター

３　出席者　　委員／大村惠（委員長）、斉藤茂美（副委員長）、野畑清敬、
宇井一弘、西本昌司、白川陽一、稗田猛（欠席）
（敬称略）　オブザーバー／近藤啓史、藤田憲彦、杉山基明、藤本聡
事務局／永坂正和、山中浩之、近藤雅子、荘田元宣、
中根史義、山村聡志、水野路子、江坂秀晃

４　内　容　　司会により、以下のとおり進行した。

（１）会の成立
委員７名中６名の出席を得て、委員会規則第６条第１項に基づき、委員会の成立を報告した。

（２）主催者あいさつ
杉山副理事長があいさつをした。

（３）委員・オブザーバーの紹介、事務局紹介
今年度は第８期 2 年任期の２年目にあり、委員・オブザーバーの変更はなし。事務局は定期人事異動により青少年センターが１名変更となった。

これ以降、委員長が議事を進行した。

（４）議事
①議事１　青少年育成委委員会　前回の会議録について
●事務局より説明。資料：議題(１)
会議録については、ホームページで公開予定。
公開にあたっては①発言した委員の氏名は記載しない、②会議の内容は要約表記とする、③事務局説明や事業の内容に関係ない発言に関しては記載しない、④会議資料は基本的に掲載とするが、モニタリングに関する資料は掲載しない、⑤個人団体及び施設等、名称が特定されて支障があるものについては、内容によって公表するかを委員と協議して配慮する。
以上の５点に配慮する形で掲載する。この要件を踏まえながら、配布し

た会議録について、自身の発言内容について、加筆・修正等があったら申し出るように要望した。

議事１について、意見・質問は無かった。

②議事２　令和７年度事業報告について
●青少年部総括を事務局より説明。資料：議題(２)　P1～2
●青少年センターを事務局より説明。資料：議題(２)　P3～６
●総合野外センターを事務局より説明。資料：議題(２)　P7～10
●産業文化センターを事務局より説明。資料：議題(２)　P11～15

議事２について、以下のような質問と意見があった。

（委員）
青少年センターの活動支援事業は前年比で 63%も増えているが、増加した背景や理由を知りたい。

（事務局）
ホームページへの掲載や利用者とのやり取りの中で、サロン活用の話が広がっている。あとはサロンを継続的な活動場所として活用する自主グループもあることも一つある。

（委員）
青少年センターの傷害互助会の見舞い金の支給が 4 件とコロナ禍には子ども会活動自粛が基本で、減少していた。それがまたちょっと増えてきているのか、そうでもないのか。

（事務局）
昨年度は子ども会さんのレクレーションの活動中でケガをされたり、見守りをしていた役員さんがケガをされたと聞いている。子ども会の数は減少しているが、活動自体が減少してきているという傾向はない。

③議事３　令和８年度事業計画について

●青少年部基本方針を事務局より説明。資料：議題(３)　Ｐ１
●青少年センターを事務局より説明。資料：議題(３)　P2～5
●総合野外センターを事務局より説明　資料：議題(３)　P7～10
●産業文化センターを事務局より説明　資料：議題(３)　P11～15

議事３について、以下のような質問と意見があった。

（委員）
科学体験館の行事計画は工夫が多く、他館との連携によるプラネタリウムやサイエンスショーなどの取り組みを評価している。予算が厳しい中では、他機関との連携が効率的な運営につながるため、財団運営である強みを生かし、今後も積極的に推進してほしい。施設の老朽化対策を進める中で、展示内容の充実も重視すべき。何か具体的な予定はあるか。

（事務局）
展示については現在進んではいないが、リニューアルから既に２０年以上経過しており、設備面での不具合も多くみられる。特に、サイエンスショーを行うパフォーマンスステージの演出照明 LED 化等の要望をしている。今回は叶わなかったが、展示も含め引き続き要望したい。

（委員）
科学体験館は、博物館や美術館との連携が進んでいることを評価する。施設間の距離があるため、費用はかかるものの、ピストンバスなどの移動手段を整備すれば、来館者の利便性向上と相乗効果の拡大が期待できる。老朽化に伴う改修について、今後の具体的な予定はあるか。

（事務局）
科学体験館だけでなく産業文化センター全体にも関わることではあるが、今年度行う修繕は３件ある。①空調システムの新規更新、②非常用発電機の更新、③受変電設備の部分的な修繕を行う予定である。

（委員）
野外センターはプログラムの組み方にストーリー性がみられることを評価する。指導者研修について、キャンプスタッフ研修等を、自主事業（六所であそぼう、六所でキャンプ等）と連動させ、大学生が段階的に成長しリーダーとして活

躍できる育成体系を構築することを期待したい。安全研修の強化についても評価する。駐車場の狭さが課題であり、駐車場拡張を継続して要望する。

（委員）
　野外センターの高校生ボランティアスクールについて、拡大により高校生の自然・野外活動への参加機会が広がる点を評価する。一方で、小中学校の野外活動参加者数が昨年度の9,800人から今年度計画の7,300人へと大きく減少している理由を知りたい。

（事務局）
　小学生の人数が減少してきていて、我々だけでは解決できない問題もある。それでも来ていただいている団体等あるので支援する機会を増やしていきたい。

（委員）
　青少年センターが今年度から開始した、上限３万円による若者の自主企画支援事業について関心をもった。3万円を使って若者がどのような企画を実施しようとしているのか、想定される内容はあるか。若者が企画を発案した際、職員がどのようにサポートする体制を整えているのか確認したい。

（事務局）
　若者応援事業の一環として、つながるカフェに集う若者が自主的に企画を立ち上げられるよう支援することを想定している。WAKATTE や学生によるまちづくり提案事業ほど大規模ではないが、「何かやってみたい」という想いを持つ若者の小規模な挑戦を後押しする位置づけにしている。職員は、若者の自主性を尊重しつつ、必要に応じて助言を行い、企画が自立的に運営できるよう伴走支援を行う体制を想定している。

　④議事４　令和８年度モニタリング事業について
　●事務局が概略を説明。資料：議題(４)　Ｐ１～３
　●青少年センターを事務局より説明。資料：議題(４)　P4～6
　●総合野外センターを事務局より説明　資料：議題(４)　P7～9
　●産業文化センターを事務局より説明　資料：議題(４)　P10～12

　議事４について、以下のような質問があった。

（委員）
　野外センターのキャンプクラブの開催が 8 月だったと思ったが、詳細がわかれば教えてほしい。ワールドキャンプについては、参加者はアロハを着て参加するのか。

（事務局）
　キャンプクラブの日程が確定次第お伝えする。アロハに関しては、まだ確定していない。今考えているのはレイをつくったり、ファイヤーダンスをしたりすることは決まっている。

⑤議事５　令和８年度豊田市文化振興財団表彰について
●事務局より概要の説明。資料：議題(５)　P1～2

議事５について、ご意見ご質問等は特になかった。

委員長による議事が終わり、司会者が進行する。

（５）その他
第２回委員会の日程
出席者及び欠席委員の都合を確認し、次に決定した。
期日／令和８年９月２６日（土）午前１０時
会場／青少年センター
内容／前期のモニタリング評価、後期のモニタリング事業、
令和９年度事業計画（案）など

以　上